

年度	入ゼミ	氏名	卒論タイトル
2005年度	第1期	大江陽	家計に占める教育費の変化について～ゆとり教育の施行とその影響～
2005年度	第1期	加納 昇	大豆の先物市場について
2005年度	第1期	川田 潤	中毒が消費に与える影響
2005年度	第1期	佐々木 俊輔	音楽業界の現状と課題
2005年度	第1期	長谷 晋介	大手電機メーカーの環境対策とその効果について
2005年度	第1期	廣澤 徳孝	データから見るフリーター
2005年度	第1期	船崎 隆人	新しい付加価値～作る企業、追う企業～
2005年度	第1期	村上 浩	推計統計の基礎的課題～Statistical Inference の演習から～
2006年度	第2期	秋岡 利勇	秋葉原の発展について(未完)
2006年度	第2期	酒本 隆太	Household Production Technologyによるテレビ視聴時間の分析
2006年度	第2期	高橋 泰斗	データで見るプロ野球2006—OPS(On-base plus slugging)による戦力評価とコスト削減—
2006年度	第2期	林 利行	ゲームの中毒性と読書の習慣性—需要関数の推定による分析—
2006年度	第2期	松澤 悟	健康食品の価格分析—納豆の需要関数とサプリメントのヘドニックモデル—
2006年度	第2期	渡邊 正太郎	気象予報を利用した天候デリバティブモデルの開発—長期予報と地域特性によるリスクプレミアムの減少効果—
2007年度	第3期	佐藤嘉郎	大卒の価値の計量分析:大学教育の内部収益率のSensitivity Analysis
2007年度	第3期	山川 医	コラーゲンのヘドニック価格の推定:共分散構造分析を使って
2008年度	第4期	有村 洋多郎	ジャンル別に見るDVDの需要関数の推計: 線形支出体系の応用
2008年度	第4期	岩井 武士	バイオ起源のCO ₂ 排出と削減効果 :ガソリン代替からダイエットまで
2008年度	第4期	奥本 聰	演劇公演の費用関数の推定
2008年度	第4期	織田 琢也	馬券のオッズの推定とシミュレーション: 非線形回帰分析とモンテカルロ法の応用
2008年度	第4期	加藤 浩二郎	VaR算出方法の比較:ヒストリカル法からGARCHモデルにもとづくシミュレーション分析
2008年度	第4期	栗 正樹	携帯電話契約者数に関する非線形回帰分析
2008年度	第4期	櫻井 雅弘	金融商品の時系列分析: Granger causality, VECMを使って
2008年度	第4期	宮越 直哉	原油先物価格の分析: 最適ヘッジと時系列分析
2009年度	第5期	池田 圭佑	絵画の価格と画家の性別価格格差の推定
2009年度	第5期	金城 弘明	携帯電話の普及率と腕時計の売上の関係について
2009年度	第5期	熊谷 真仁	ダイエットによるCO ₂ 排出と削減効果
2009年度	第5期	鈴木 涼介	コミック誌作品に関する生存分析
2009年度	第5期	角町 智博	犯罪の経済学に関する実証分析
2009年度	第5期	中野 聰	公立高校の教育の生産性—DEA分析によるアプローチ
2009年度	第5期	野村 真悟	邦銀の倒産確率の分析—財務データに基づく有効性の検証
2009年度	第5期	森下 明	プロ野球の経済学—縮小推定法を用いた年間打率および線形モデルによるメジャーリーグ移籍1年目の成績の推定
2010年度	第6期	石尾 拓也	食の安全と消費者の行動
2010年度	第6期	板村 一輝	ギャンブルと地域性に関する考察
2010年度	第6期	出井 智也	自動車保有台数の分析
2010年度	第6期	岡 良輔	排出権取引価格の時系列分析
2010年度	第6期	熊田 哲臣	コンピュータとインターネットプラウザの関係
2010年度	第6期	傍島 稔也	ディープインパクトの子供は強いのか
2010年度	第6期	高橋 陽一郎	マンガの発行部数と単語の使用頻度
2010年度	第6期	長綱 文哉	タバコと食に関する需要関数
2010年度	第6期	細谷 敏弘	スギ花粉と消費行動
2010年度	第6期	宮下 悠里	法科大学院の生産性分析 —DEAによるアプローチ—
2014年度	第7期	猪狩貴之	出身大学と就職先業界の関係性
2014年度	第7期	大泉祐介	二輪事故の原因分析とそのリスク
2014年度	第7期	太田瑛士	男女における住宅決定の要因分析
2014年度	第7期	佐藤正治	2014FIFAワールドカップの統計分析
2014年度	第7期	杉本貴史	県民性が自動車事故に及ぼす影響分析
2014年度	第7期	富廣祐太郎	2020東京オリンピック招致の試算
2014年度	第7期	中嶋信	技術革新(生産性)ショックが雇用量に及ぼす影響—製造・卸小売・サービス産業を対象にした計量分析—
2014年度	第7期	中村亮	コーヒーがモチベーションに与える影響の相関分析
2015年度	第8期	大澤友	漫画の発行部数の推定方法に関する研究:出版の巻数, 増刷回数, 増刷期間の関係性から
2015年度	第8期	岡沙由実	自転車競技における順位の推定と勝因に関する研究
2015年度	第8期	垣本優太	効率の良いコンビニチェーンの海外進出戦略の推定
2015年度	第8期	樺島千尋	増税と消費者行動

2015年度	第8期	小林翔瑠	FIFAランキングと自然災害などの発生件数の相関
2015年度	第8期	佐藤弘輝	群馬県における全国学力学習調査結果の特徴
2015年度	第8期	高橋樹之	日本の出生率に関する統計的分析
2015年度	第8期	東條恵也	打撃成績による年俸査定についての考察
2015年度	第8期	中野航平	重回帰分析による図書館利用要因の分析
2015年度	第8期	細井瑠里子	統計から見るフィギュアスケート～浅田真央選手の理想プログラム～
2015年度	第8期	山田統二郎	IR(統合型リゾート)の誘致場所に関する考察
2015年度	第8期	吉山祐未	通信需要の増加による書籍需要への影響
2015年度	第8期	渡邊武久	震災が不動産価値に及ぼした影響
2016年度	第9期	石塚大志	各国スポーツ協会の腐敗・汚職行為とオリンピック大会成績の相関関係
2016年度	第9期	今村隆太郎	オリンピックメダリストから見た血液型と運動能力の相関関係
2016年度	第9期	遠藤寛子	空き地の活用と経済効果
2016年度	第9期	荻野聖矢	景気と流行曲の特徴における相関関係
2016年度	第9期	小西紳太郎	プロ野球における打順と守備位置の組み合わせが成績に与える相関関係
2016年度	第9期	斎藤克成	テキストマイニングによる文学比較—無類派代表作家3名の比較
2016年度	第9期	高橋駿太	うつ病と自殺の関係
2016年度	第9期	竹田和正	棋譜の変遷と機械学習について
2016年度	第9期	立川大嗣	新聞購読者数の減少に関する分析
2016年度	第9期	仁熊健太	東京23区のマンション・アパートの家賃決定における要因
2016年度	第9期	西山雄大	プロ野球の観客動員数に関する分析
2016年度	第9期	松原拓也	中学生の犯罪について
2016年度	第9期	丸山浩輝	株価指数の変動と経済変数との相関
2017年度	第10期	青井光太郎	ムネアカオオクロテントウの分布の拡散速度について
2017年度	第10期	赤嶋俊太朗	売れる商品と広告の関係性について
2017年度	第10期	五十嵐涉	生命表を用いた寿命格差の分析
2017年度	第10期	葛西祐也	夏目漱石の文学変遷に関する統計的分析
2017年度	第10期	河村剛志	東京と近隣地域の住宅街比較分析
2017年度	第10期	後藤駿太	コンピュータの将棋ソフトの強さについての考察
2017年度	第10期	櫻井陽平	交通事故とその要因
2017年度	第10期	澤谷駿行	美少女イラストに関する定量分析
2017年度	第10期	俵原佑太	サーブにおけるサーフェスの影響について
2017年度	第10期	友澤達也	出身大学偏差値と国会議員のパフォーマンスとの統計分析
2017年度	第10期	長谷川嵩幸	シニア世代の購買行動に関する統計分析
2017年度	第10期	長谷川雄万	増税が消費者行動に与える影響
2017年度	第10期	前田恭佑	浦和レッズの成績と観客動員数の相関関係
2017年度	第10期	村田滉	日本における外国人労働者増加の背景と今後
2017年度	第10期	山田惇詩	CDの売上枚数とそれに寄与する要素に関する考察
2017年度	第10期	山村雅也	仮想通貨と他価格データの関連性について
2018年度	第11期	新井康平	アプリUIデザインにおける品質要素とその効果の分析
2018年度	第11期	荒川真也	スキー場の人気決定要因について
2018年度	第11期	以後崎光来	ペットの飼育頭数と景気の相関関係
2018年度	第11期	内炭光太朗	都道府県別の温泉地と宿泊客数の関係について
2018年度	第11期	小笠原圭允	體育會生の就職先の相関
2018年度	第11期	笠原健吾	書籍に対する支出の減少に関する分析
2018年度	第11期	加藤航太郎	NFLプレイヤーの誕生日と様々な属性との関係性
2018年度	第11期	小城力人	地価に与える騒音など住環境の影響分析
2018年度	第11期	小牧秀之	コンパイルターゲット言語としてのWebAssembly, そしてLINEでの実践
2018年度	第11期	坂本悠介	GISを使った地域の公共交通分析及び行政のGIS活用の将来
2018年度	第11期	下田広貴	統計学の記述に関する日米間の教科書比較
2018年度	第11期	鈴木夏海	野球の観客動員数の推移と絶対数の多さの比較
2018年度	第11期	趙榮福	国内トップアスリートと兄弟構成に関する分析
2018年度	第11期	坪田裕貴	MLB打者分析

2018年度	第11期	藤本源大	日本の出生率における変動の要因分析
2018年度	第11期	文山慎一朗	諸外国のキャッシュレス比率についての分析
2018年度	第11期	古田優介	職種と離婚率の相関
2018年度	第11期	堀祐斗	地方都市の地価:仙台における事例
2018年度	第11期	森上達也	地域別設備投資と雇用の異質性の関係
2018年度	第11期	森下誠	Jリーグ選手の年俸と成績の関係
2018年度	第11期	渡辺諒	プロ野球選手の年俸と出身地などの関係性
2019年度	第12期	大保宏樹・浦秀豪・根岸真也	アメリカンフットボールの試合における試合分析の必要性
2019年度	第12期	奥泉拓哉	中華そば(外食)と中華めん、カップめん、即席めんの需要の競合関係
2019年度	第12期	郭逸	日本の漁業の持続性に関する統計分析
2019年度	第12期	笠原健吾	書籍に対する支出の減少に関する分析
2019年度	第12期	加藤航太郎	NFLプレイヤーの誕生日と様々な属性との関係性
2019年度	第12期	許翼	現代におけるSNSの効果分析:ゲーム機への影響
2019年度	第12期	小城力人	騒音が与える地価への影響についての考察
2019年度	第12期	小林圭・谷内聖音・平本宇穂・ミラーN飛雄	ラクロスの試合中における選手のプレー分析
2019年度	第12期	酒井和真・佐藤嵩也	OpenCVを用いたトラッキング手法とその比較
2019年度	第12期	常セン	ニューラルネットワークに基づくPM2.5濃度の予測
2019年度	第12期	菅野貴博	Jリーグにおける観客動員数を増加させる決定要因
2019年度	第12期	前田泰佑	シンバル価格決定要因の統計分析
2020年度	第12期	山本航平	2019年度のJ1リーグのトレンド
2020年度	第13期	大崎祥一郎	水族館の集客力の要因分析
2020年度	第13期	佐藤優二・浅井英志・久保宙貴・小山拓哉・白石拓巳・渡邊充	American Football のdefense・offenseの選手別・類型別統計解析
2020年度	第13期	清水珠理・日野美咲	Lacrosseのobject trackingと動作解析
2020年度	第13期	須田雄之	ライブ配信サービスにおいて、売上を多く生み出す配信者の特徴分析
2020年度	第13期	高瀬大輔	等々力陸上競技場の適正収容人数
2020年度	第13期	立石怜・田村俊翠	Lacrosseにおけるプレー別統計
2020年度	第13期	原田萌加	スポーツ動画を利用した統計的推論、どの動きに選手の差が現れるのか:OpenPose姿勢推定データのWavelet解析
2020年度	第13期	平林可鈴	ギターの音の分析と価格決定要因
2020年度	第13期	古市昂大・大塚崇・近藤芳正	スタッツを用いたPGA年間獲得賞金額の予測とその特徴
2020年度	第13期	堀場稔裕・佐藤惇司・田野保力斗	CNNを用いたバンドの特徴の識別
2020年度	第13期	門矢和真	Archeryの姿勢推定と比較分析
2021年度	第13期	渡邊太良	副業・兼業の促進と地方創生に向けて
2021年度	第14期	赤井聰・佐藤永啓・竹中康祐・松木雅文	ユルゲン・クロップ監督がリバプールに与えた影響の統計的分析
2021年度	第14期	伊藤尚人	eスポーツ市場における賞金額の要因分析
2021年度	第14期	伊藤瑠美・東城明日香・峰岸璃乃	異種スポーツにおける共通点の分析
2021年度	第14期	遠藤耕太・渡辺舜也	DEA手法による銀行業界の分析
2021年度	第14期	大久保晴	トラッキング・システムを用いたサッカー分析
2021年度	第14期	岡本昂之	経済指標から見る都道府県の出生率
2021年度	第14期	小野田恵実・金貞娥・小杉葵・中川智佳子	YouTubeの再生回数とサムネイルの関係
2021年度	第14期	北山真名	バレーボールを統計学的観点からみて
2021年度	第14期	小嶋華	ウェブサイトのアクセス数分析:慶應スポーツ新聞のデータから見る傾向
2021年度	第14期	近藤悠梨子・仙波陽花	OpenPoseを用いたゴルフスイングの分析
2021年度	第14期	鈴木英郎	第二次世界大戦が及ぼした文学作家の語彙使用の変化に関する統計的推論
2021年度	第14期	施星雪児・陳嘯	中国の出生率の要因分析
2021年度	第14期	元木泰生	日経平均価格の変動の統計的特徴
2021年度	第14期	吉田溪吾	音楽業界における流行期間の変化と要因

2022年度	第14期	中尾紘士	オフェンスチームの体系別攻撃の種類に関する統計分析
2022年度	第14期	南澤知秀	株式会社東芝の不正会計事案から考える日本の監査の問題～株価と財務指標への回帰不連続デザイン分析の応用
2022年度	第15期	虹川亮政	OpenPoseを用いたアーチェリーにおける射型の統計的分析
2022年度	第15期	伊藤優吾	保険料率と支払い保険額の地域差について
2022年度	第15期	井戸幹太・木暮光貴・後藤克徳	ラグビーにおけるルール改定による戦術の変化
2022年度	第15期	小野楓季	箱根駅伝の5区が与える総合順位への影響:区間距離変更の効果はあるのか
2022年度	第15期	川原真輝・北條元聰	映画の興行収入に関する分析および予測モデルの作成
2022年度	第15期	久保早希	動画配信サービスの順位指標を決める因子はなにか
2022年度	第15期	小板橋侑大	OpenPoseを用いたソフトテニスのサービス分析
2022年度	第15期	小林美沙子・巽万里子・星野祐仁佳	バスケとゴルフにおける動作の共通点
2022年度	第15期	徐叡辰	On the economic effects of renewable energy: An application of Korean Input–Output analysis
2022年度	第15期	橋本小夏・近藤礼菜	Lacrosse Draw Controlの動画分析
2022年度	第15期	飯田海人	YouTubeライブ配信のコメントへの感情分析による、最適なマーケティング戦略の策定
2023年度	第15期	野口里季香	高校3年生の進路・進学先の決定要因:個票データによる統計分析
2023年度	第16期	姜泓頌	The Fama–French Multi–Factor Model: Applications to the Japan Stock Market
2023年度	第16期	赤木陽太・上野知和・吉田達哉	観客動員数の決定要因: GAMによる非線形効果の抽出
2023年度	第16期	池田真悟	主成分分析を用いた電子書籍における漫画の人気度調査
2023年度	第16期	酒井貴弘	OpenPoseを用いたラインアウトストローの規則性
2023年度	第16期	小澤星夜	早慶戦サッカーの観客動員数の決定要因について
2023年度	第16期	小森春乃・滝田彩乃	障害馬術の姿勢をAIで分析する
2023年度	第16期	高木駿吏	邦楽における男性ボーカル曲の高音化について
2023年度	第16期	田路周輔・櫟木幹太・小澤星夜・福原航史	おむつと同時にビール・発泡酒は購入されているのか:『家計調査』を使った需要関数の推定結果
2024年度	第17期	安藤美穂	SNS で拡散されやすいコスプレの特徴について
2024年度	第17期	井川啓士	野球の投球フォームと球速
2024年度	第17期	井田涼子	ゴルフ・フォームの動作解析
2024年度	第17期	大橋桜子	サッカーのキック動作解析と数値データによる比較
2024年度	第17期	小池美杏	人気のある音声の平成から令和への変遷: Sound Analysisと音声の可視化
2024年度	第17期	小城大和・田村茉央・富永万作・渡邊匠	世界都市ランキング手法を応用した都道府県ランキング
2024年度	第17期	清水秀俊・莊晶大・名倉弦	アイスホッケーにおける体格とチーム順位: mixed GAMの一応用
2024年度	第17期	田中亮	馬術競技における飛翔時のフォーム分析
2024年度	第17期	中村久高	射法フォームの動画解析
2025年度	第18期	秋山晃紀・小久保遼・小杉海斗	Open Poseを用いた拳法の前廻し蹴りにおけるフォーム分析
2025年度	第18期	海老澤健太	プロ野球における個人成績の推計
2025年度	第18期	大岡優太・米津幸治・笠原大介・小館太進	スタッツを使った試合の分析
2025年度	第18期	岡安人・三井駿輝	Open pose を用いたゴルフスイング分析
2025年度	第18期	小川晋五	OpenPoseをもじったスキーの動作分析
2025年度	第18期	熊谷格治・田中雄大・角田惠風	早慶戦における観客動員数への影響要因分析
2025年度	第18期	倉員未羽・西村美葵	バレーボールのプレー分析
2025年度	第18期	仲條友理	ペットシッター業界の需要分析
2025年度	第18期	宮内創太郎・今野僚介	ゲームのジャンル推移とその要因
2025年度	第18期	横川昂永・須藤芳永・飯村周真・伊牟田憲	アメリカンフットボールにおける戦術:歴史と現代戦術
2025年度	第18期	若山梨々子	ゴルフのスイング分析
2026年度	第19期		

2026年度 第19期
2026年度 第19期
2026年度 第19期
2026年度 第19期
2026年度 第19期
2026年度 第19期